

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2409 号

Atopic Glaucoma: Clinical and Pathophysiological Analysis

(アトピー緑内障: 臨床的及び病態生理学的解析)

小林 加苗 (こばやし かなえ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、アトピー性皮膚炎の眼合併症として、従来報告されてきた角結膜炎や白内障、網膜剥離とならんで、緑内障があることを始めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。アトピー性皮膚炎と緑内障との関連は、皮膚炎の治療で使用されるステロイドによる副作用で眼圧が上昇し緑内障を発症すると考えられてきた。しかしステロイド忌避のアトピー性皮膚炎患者においても緑内障を発症することがあること、またアトピー性皮膚炎合併緑内障症例の多くが深刻な視神経障害や白内障、網膜剥離を合併し視力予後が不良であること、さらには著明な高眼圧と眼表面の瘢痕形成により治療に難渋するといった臨床的特徴を備えており、アトピー緑内障という一つの病態として考えることを提唱した。また、前房水における炎症性サイトカイン発現が対照症例と比べアトピー緑内障で高値であることや、電子顕微鏡による線維柱帯組織の観察で、線維柱帯の強角膜網と傍シュレム管結合組織の間隙に特徴的な所見を認めるなど、独立した病態であることを支持する所見を得た。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。